

セクション 1: 化学物質特定情報および会社情報

製品特定情報

製品形態 : 混合物
製品名 : CFF カーボンファイバーフィラメント
別名 : 炭素

該当純物質または混合物の関連特定用途および使用禁止用途

物質/混合物の用途 : MarkForged 3D 印刷材。
使用上の制限: 追加情報なし

安全データシートの作成者に関する詳細

会社

MarkForged, Inc
60 Tower Rd
Waltham, MA 0245 USA
T: 866-496-1805 (米国東部標準時午前 9 時 ~ 午後 6 時)

support@markforged.com

markforged.com

緊急時の連絡先電話番号

緊急時の連絡先電話番号 : +1 703-741-5970
CHEMTREC 1-800-424-9300

セクション 2: 危険有害性情報

物質または混合物の分類

GHS-JP 分類

未分類

ラベル要素

該当する表示なし

その他の危険有害性

分類につながらないその他の危険有害性 : 通常の使用条件下では、本製品は粉塵を発生させないと予想されます。ただし、粉塵が発生した場合は、清掃には火花の出ない工具を使用してください。掃除機による浄化が望ましい。必要に応じて、除塵剤を使用します。作業場に粉塵が溜まらないようにしてください。防爆弁付きの適切な換気システムを使用します。熔融製品との接触による熱傷のリスク。

セクション 3: 組成/成分情報

物質または混合物の識別 : 混合物

日本工業規格[JIS Z 7252 および 7253]の意味の範囲内では、この混合物の化合物は開示する必要はない。

セクション 4: 応急措置

応急措置の説明

一般的な応急措置 : 意識のない場合は、口から何も与えてはならない。気分が悪い場合は、医師の診察を受ける(可能な場合はラベルを提示する)。

吸入した場合の応急措置 : 症状が発生した場合: 屋外に退避し、暴露の疑いのある区域の換気を行う。呼吸困難が続く場合は、医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合の応急措置 : 多量の水と石鹼で優しく洗う。熔融製品に触れた場合は、皮膚を冷たい水で早急に冷やす。凝固した熔融物質を皮膚から取り除くには医療の手助けが必要である。

眼に入った場合の応急措置 : 健康への影響は予想されない。刺激が生じた場合は、ぬるま湯で 5 分間静かに水を流します。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。刺激が生じた場合や、刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受ける。凝固した熔融物質を眼から取り除くには医療の手助けが必要である。

飲み込んだ場合の応急措置 : 口をすすぐ。無理に吐かせない。医師による手当てを受けること。

応急処置をする者の保護措置と対策 : 適切な個人用保護具(PPE)を使用する。

CFF カーボンファイバーフィラメント

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

最も重大な症状および影響(急性および遅延性)

- 症状／影響 : 通常の使用において予測される条件下では、重大な危険有害事象の発生は見込まれない。大量の粉塵が長時間にわたって付着すると機械的な刺激を生じることがある。溶融製品との接触による熱傷のリスク。
- 吸入した場合の症状／影響 : 予想される通常使用の条件下では、重大な吸入毒性は示さないと考えられる。
- 皮膚への接触後の症状／影響 : 長時間暴露により、皮膚の炎症を引き起こすおそれがある。溶融製品との接触による熱傷のリスク。
- 眼に入った場合の症状／影響 : 眼への物理的刺激のおそれ。溶融製品との接触による熱傷のリスク。
- 飲み込んだ場合の症状／影響 : 飲み込むと有害な影響を及ぼすおそれがある。
- 慢性症状 : 知見なし。

即時医療措置および特別治療の必要性を示す兆候

暴露した場合や暴露が懸念される場合には、医師の診察、手当てを受けること。医師の診察が必要な場合、製品の容器やラベルを持参すること。

セクション 5: 火災時の措置

消火剤

- 適切な消火剤 : 散水、水の噴霧、二酸化炭素 (CO₂)、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤。
- 不適切な消火剤 : 強力な放水を使用してはならない。強力な放水の使用により火災が拡大するおそれがある。熱い生成物に放水すると、フロス(泡)が発生し、火力が強まる場合がある。

物質または混合物に由来する特別な危険有害性

- 火災危険性 : 可燃性ではないが、高温では燃焼するおそれがある。
- 爆発危険性 : 本製品には爆発性はない。可燃性粉塵である物質を含む。製品が加工され、粉塵が発生して発火源で分散すると、可燃性粉塵爆発を引き起こす可能性があります。粉塵レベルを最小限に抑え、適用される規則を遵守すること。
- 反応性 : 通常の条件下では有害な反応は発生しない。

消防士へのアドバイス

- 火災に関する予防措置 : 化学物質による火災の消火は慎重に行う。
- 消火時の指示 : 露出した容器の冷却には散水あるいは水の噴霧を使用する。火災時の煙または分解時に発生する蒸気を吸引しないこと。
- 消火時の防護 : 呼吸用保護具を含む適切な保護具を装着していない者は、火災発生エリアには立ち入ってはならない。
- 有害燃焼生成物 : 炭素酸化物 (CO、CO₂)。窒素酸化物。刺激性の煙。
- その他の情報 : 消火活動の際の流出物が排水設備や水路に入らないようにすること。溶融した材料に水を加えないでください。飛散する恐れがあります。

セクション 6: 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具、および緊急措置

- 一般的な措置 : 眼、皮膚、および衣類との長時間の接触は避けること。粉塵を吸い込まないようにすること。粉塵が発生しないようにすること。
- 二次災害の防止策 : 粉塵を発生させないこと。発火源を除去する。当該領域の換気を行う。
- 緊急救援隊以外の人員
- 保護具 : 適切な個人用保護具 (PPE) を使用する。
- 緊急措置 : 不必要な人員を退避させる。
- 緊急対応にあたる人員
- 保護具 : 浄化担当スタッフには適切な保護具を装着させる。
- 緊急措置 : 現場に到着したら、まず危険なものがないことを確認し、自分とその周囲の保護、安全を図り、状況が許し次第、訓練された人の支援を求める。

環境に関する注意事項

下水および公共用水への流入を防止する。この物質は水路の底に沿って沈み、分散します。一度水に入ると簡単に除去されることはありませんが、水生環境には有害ではありません。

封じ込めおよび浄化の方法・資材

- 封じ込め : 適切な障壁で固形流出を封じ込め、下水または水路への流入を防止する。

CFF カーボンファイバーフィラメント

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

浄化方法

: 漏出した物質を迅速に除去し、回収した物質は安全に廃棄する。吸引、掘削、掃除によって製品を回収する。掃除機による浄化が望ましい。掃除には粉塵抑制剤を使用する。漏出した物質を廃棄に適した容器に移す。漏出物の清掃時には、塵芥の発生を防ぐ。漏出の発生後に、監督官庁に通報する。

他のセクションの参照事項

セクション 8「暴露防止および保護措置」およびセクション 13「廃棄上の注意」を参照のこと。

セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

安全な取扱いに関する注意事項

加工時の追加的有害危険性

: カーボンファイバーは導電性です。特に、そのエリアで空中ファイバーがドリフトしている場合、電気装置の短絡を引き起こす可能性があります。加工すると、製品の粉塵は可燃性です。埃の発生を最小限に抑えるため、処理中は注意してください。溶融製品との接触による熱傷のリスク。

技術的対策

: 適用される規則を遵守する。
粉塵の発生、広がりを避ける。

安全な取扱いに関する注意事項

: 飲食や喫煙の前、および作業場を離れる際には、手やその他の露出した部位を刺激性の少ない石鹼と水で洗浄する。眼、皮膚、および衣類との長時間の接触は避けること。粉塵を吸い込まないようにすること。粉塵の発生、広がりを避ける。適切な個人用保護具(PPE)を使用する。

不適合物質や混合物の取り扱いを防止

: 強酸、強塩基、強酸化剤から離して保管してください。水、湿気。

衛生対策

: 労働安全衛生手順に従って取り扱うこと。

安全な保管の条件(混触危険性を含む)

技術的対策

: 適用される規則を遵守する。

保管条件

: 使用していない場合は、容器を閉めておく。乾燥した、涼しくて換気の良い場所に保管する。直射日光、極端な高温または低温、混触危険物質を避けて保管する。

混触危険物質

: 強酸、強塩基、強力な酸化剤。水、湿気。

梱包/容器に使用されている材料

: 追加情報なし

保管温度

: 室温

特定の最終用途

MarkForged 3D 印刷材。

セクション 8: 暴露防止および保護措置

管理基準

追加情報なし

生物学的限界

追加情報なし

暴露防止

適切な工学的管理

: 暴露の危険性のある区域の近くに、目の洗浄および身体洗浄に適した設備を設置しなければならない。十分な換気が行われるようにすること(特に狭いエリアにおいて)。粉塵の発生、広がりを避ける。ファイバー濃度が PEL/TLV を下回るように、十分な機械的換気または自然換気を維持します。必要に応じて局所排気を使用します。電力設備に適切な集塵装置を取り付ける必要がある。本製品の処理に関係する局所排気装置や物質輸送システムなどの粉塵抑制設備にはすべて、爆発逃がし通気管、爆発抑制システム、または酸素欠乏環境を含めることを推奨する。国/地方公共団体の規則を確実に遵守する。

個人用保護具

: 一般に不要である。条件に応じて、個人用防護具の着用が必要になることがある。手袋。保護衣。防護ゴーグル。換気が不十分な場合: 呼吸用保護具を着用。



保護衣の素材

: 耐化学物質性の素材および繊維。

手の保護

: 保護手袋を着用すること。

CFF カーボンファイバーフィラメント

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

眼および顔面の保護	: 化学物質用のゴーグルまたは安全眼鏡。
皮膚および身体の保護	: 適切な保護衣を着用すること。
呼吸器系の保護	: 暴露限界値を超えるか、かゆみなどが感じられる場合は、認証済み呼吸保護具を着用する。
熱危険性の防護	: 高温の材料を扱う場合は、適切な熱保護服を使用してください。
環境暴露防止	: 環境への放出を避けること。
消費者の暴露防止	: 一般に不要である。条件に応じて、個人用防護具の着用が必要になることがある。
その他の情報	: 本製品の使用時には飲食または喫煙をしないこと。

セクション 9: 物理的および化学的性質

基本的な物理的・化学的特性に関する情報

物理状態	: 固体
色	: 黒色。
臭い	: データなし
臭いの閾値	: データなし
pH	: データなし
蒸発速度	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
燃焼性(固体、気体)	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対蒸気密度(20°C)	: データなし
相対密度	: データなし
溶解度	: データなし
分配係数:N-オクタノール/水	: データなし
粘度	: データなし
動粘度	: データなし
爆発限界	: データなし
粒子特性	: データなし

その他の情報

揮発性有機化合物含量 : 該当なし

セクション 10: 安定性および反応性

反応性

通常の条件下では有害な反応は発生しない。

化学的安定性

推奨される取扱いおよび保管条件下にある場合は安定(セクション 7 を参照)。

有害反応の可能性

有害な重合は発生しない。

避けるべき条件

直射日光、極端な高温または低温、混触危険物質。粉塵の発生、広がりを避ける。

混触危険物質

強酸、強塩基、強力な酸化剤。水、湿気。

危険有害な分解生成物

熱分解によって以下のものが発生する: 炭素酸化物(CO、CO₂)。窒素酸化物。シアン化水素。

CFF カーボンファイバーフィラメント

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

セクション 11: 有害性情報

毒性影響に関する情報

- 可能性の高いばく露経路: 経皮
潜在的なヒトの健康に対する有害作用および症状: 未分類。(利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない)
- 急性毒性(経口): 未分類。(利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない)
急性毒性(経皮): 未分類。(利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない)
急性毒性(吸入): 未分類。(利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない)
- 眼に対する重篤な損傷性/刺激性: 未分類。(利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない)
呼吸器官系または皮膚感作性: 未分類。(利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない)
- 生殖細胞変異原性: 未分類。(利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない)
発がん性: 未分類。(利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない)
生殖毒性: 未分類。(利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない)
STOT-単回暴露: 未分類。(利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない)
特定標的臓器毒性(STOT)-反復暴露: 未分類。(利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない)
吸引性呼吸器有害性: 未分類。(利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない)

セクション 12: 環境影響情報

毒性

- 急性水生毒性: 未分類。(利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない)
慢性水生毒性: 未分類。(利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない)

残留性および分解性

CFF カーボンファイバーフィラメント	
残留性および分解性	立証されていない。

生物蓄積性の可能性

CFF カーボンファイバーフィラメント	
生物蓄積性の可能性	立証されていない。

土壌中の移動性

CFF カーボンファイバーフィラメント	
生態系 - 土壌	立証されていない。

その他の有害な影響

- オゾン層に有害: 未分類
その他の情報: 環境への放出を避けること。

セクション 13: 廃棄上の注意

廃棄物処理方法

- 地域の法律(廃棄物): 正式な規制に従い廃棄しなければならない。
推奨される廃棄方法: 可能であれば、資材はリサイクルしてください。内容物/容器を、国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。
生態系 - 廃棄物質: 環境への不必要な放出を避けること。

セクション 14: 輸送上の注意

この輸送上の説明は、SDSの起草時点で想定された内容に従って記述されており、基準となる変数が、SDSが発行された時点で既知であった、あるいは、未知であったため、変動することがある。

UNRTDG に準拠

輸送規制なし

CFF カーボンファイバーフィラメント

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

IATA に準拠

輸送規制なし

IMDG/IMO に準拠

輸送規制なし

MARPOL 条約の付属書類 II および IBC Code に従うばら積み輸送

該当なし

その他の情報

その他の情報 : 補足情報なし。

セクション 15: 適用法令

適用法令

以下に存在しない場合、開示される化学物質は、化学物質規制法 (CSCL) および労働安全衛生法 (ISHL) を含む、供給された規制リストに記載されていないか、適用除外されます。

セクション 16: その他の情報

作成日または最新改訂日 : 2022/06/13

参考文献 : 本書は日本の危険有害性周知基準である安全データシート (SDS) の要件 JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準じて作成された。

日本 GHS SDS

本情報は現有知識をもとにしており、健康、安全、環境面での要件のみを目的に製品の特徴を記載したものである。よって、製品の個別の特性を保証すると解釈されることがあってはならない。